

リゾクトニア属菌による病害と
野菜・果樹の細菌性病害防除剤

農林水産省登録
第17386号



バリダシン[®]液剤5

バリダシンは住友化学(株)の登録商標

ふき (ふきのとう) に
適用拡大!



稲作から園芸まで
安心のロングダセラー



特長

- ① 有効成分バリダマイシンAは、病原菌がエネルギー源とするトレハロースの分解酵素(トレハラーゼ)の働きを阻害し、リゾクトニア病害および細菌性病害に効果を示します。
- ② ユニークな作用機構で、薬剤感受性低下の心配がほとんどなく、他剤に感受性の低下した菌にも効果を示します。
- ③ 適用作物への汚れの心配がほとんどありません。

■適用病害と使用方法

2023年3月現在の登録内容(色字は2023年1月11日適用拡大)

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期※	本剤の使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数	使用方法
ももすもめかんきつ	せん孔細菌病	500倍	200~700ℓ/10a	7日	4回以内	4回以内	散布
	黒斑病			3日			
	かしよう病						
キャベツ	株腐病	800倍	100~300ℓ/10a	7日	5回以内	5回以内	散布
	黒腐病			前日			
ブロッコリー	黒腐病	500倍	100~300ℓ/10a	前日	3回以内	3回以内	散布
はくさい	黒斑細菌病			3日			
レタス	すそ枯病	800倍	3ℓ/m ²	前日	1回	1回	灌注
	腐敗病			3日			
非結球レタス	腐敗病			3日			
きゅうり	苗立枯病(リゾクトニア菌)	400倍	6ℓ/m ²	は種直後	1回	1回	灌注
ねぎ	白絹病	500倍	100~300ℓ/10a	前日	2回以内	(は種時の灌注は1回以内、散布及び株元散布は合計2回以内)	株元散布
	軟腐病			7日			
だいこん	腐敗病	800倍	100~300ℓ/10a	3日	5回以内	5回以内	散布
たまねぎ	腐敗病			7日			
しょうが	紋枯病	800倍	3ℓ/m ²	14日	4回以内	4回以内	散布
				育苗期			
みつば	立枯病	800倍	100~300ℓ/10a	但し収穫7日前まで、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	3回以内	4回以内(育苗期は1回以内、移植後は3回以内)	散布
				移植後			
にんにく	春腐病	800倍	3ℓ/m ²	3日	5回以内	5回以内	灌注
				7日			
ふき	白絹病	800倍	3ℓ/m ²	植付時	1回	(種茎浸漬は1回以内)	30分間種茎浸漬
				7日			
ふき(ふきのとう)	白絹病	800倍	3ℓ/m ²	30日	5回以内	(種茎浸漬は1回以内、灌注は5回以内)	灌注
				30日			
にら	葉白病	800倍	100~300ℓ/10a	刈揃え前まで	3回以内	3回以内	散布
				30日			
ばれいしょ	黒あざ病	200倍	—	貯蔵前又は植付前	1回	7回以内(種いもへの処理は1回以内、移植後は6回以内)	瞬時~10分間種いも浸漬
		10倍	種いも100kg当り2.5~3ℓ	植付前			
だいず	青枯病	500倍	100~300ℓ/10a	3日	6回以内	6回以内	散布
	葉焼病			7日			
えだまめ	紋枯病	1000倍	60~150ℓ/10a	14日	5回以内	6回以内(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)	散布
稲	紋枯病	1000倍	60~150ℓ/10a	14日	5回以内	6回以内(育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)	散布
	疑似紋枯病(赤色菌核病菌、褐色菌核病菌、褐色紋枯病菌)						
稲(箱育苗)	苗立枯病(白絹病菌、リゾクトニア菌)	300倍	25ℓ/10a	は種時~発病初期	1回	1回	灌注
てんさい	苗立枯病(リゾクトニア菌)	400倍	3~6ℓ/m ²	育苗中期			
はわたん	黒腐病	800倍	100~300ℓ/10a	発病初期	8回以内	8回以内	散布
	西洋芝(ブラウンパッチ)	1000倍	1ℓ/m ²				
日本芝	葉腐病(ラージパッチ)	500倍	0.5~1ℓ/m ²				

△ 使用上の注意

- ボルドー液との混用はさけてください。
- うめ、かんきつのかいよう病に対しては効果がやや劣る場合がありますので、他剤と輪番使用をすとより有効です。
- 稲の苗立枯病に使用する場合、白絹病菌、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効ですが、その他の菌による苗立枯病には効果が劣るので、注意してください。
- 本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- レタス、非結球レタスに使用する場合、すそ枯病の防除を主体とし、多発生の腐敗病には効果が劣ることがあるので注意してください。
- ばれいしょの青枯病に使用する場合、本病の多発する圃場では、登録のある土壌くん蒸剤等との併用処理をしてください。
- ばれいしょの軟腐病に対しては効果が劣る場合がありますので、他剤と輪番使用をすとより有効です。
- ばれいしょの種いもに使用する場合は下記の注意を守ってください。
 - ① 切断した種いもを処理する場合、切断面が乾いた後に行なってください。
 - ② 種いも散布の場合は、種いもを床などに拡げ、全体が均一にぬれるよう散布してください。
 - ③ 処理した種いもは、よく風乾してから植付けてください。
- ふき及びふき(ふきのとう)に使用する場合、種茎浸漬処理と植付後の灌注を組合わせて使用してください。
- トマト、きく(秀芳の力等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- だいこんの軟腐病が多発するような条件では本剤はやや効果が劣る場合がありますので、なるべく早めの散布をし、他剤との輪番使用をすとより有効です。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
- 処理した種いもは、食料や動物飼料として用いないでください。
- 公園等で使用の場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域内に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

※ 収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数の制限を示します。太字は細菌性病害です。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届くところには置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

05R3C23B25.Z

2023年3月作成(全農教)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学



動画
チャンネルは
こちら!

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 ☎ 0570-058-669
農業支援サイト <https://www.i-nouryoku.com>



住友化学アグロ事業部